医療法人社団壮友会、山口医院、理事長

日本ボクシング連盟　医事副委員長

山口壮　監修

監修の言葉

コロナウイルスの影響によりスポーツを取り巻く環境は厳しいものになっており、選手・指導者の皆様、それを取り巻く方々の一方ならぬ忍耐とご努力は計り知れないことと思います。しかし、ようやく収束の光が見えつつある状況になってきており今しばらくのご努力の継続をお願いいたします。以下東京都連盟よりの依頼によりコロナウイルスの認識と対応について監修させていただきましたのでご覧頂ければ幸いです。

東京都ボクシング連盟における新型コロナウイルスの認識と対応について

東京都ボクシング連盟八木　鉄雄

**１　新型コロナウイルスの認識について**

1. 新型コロナウイルスは、感染力の高いウイルスで、発熱等の症状の有る感染者だけでなく無症状の感染者からも感染し、拡大します。
2. 新型コロナウイルス感染は、たとえ収束傾向にあったとしても感染力が低下しているわけではなく、今後も油断した条件下に於いては感染しうるものです。
3. ボクシング競技の活動や大会の開催など人々が集まる活動は危険であると判断されます。

**２　ボクシング競技における、新型コロナウイルス感染の危険性について**

①　ボクシング競技は、選手相互が接触することが前提であり、しかも対面で行う競技の為、飛散した汗、唾液などの体液が容易に相手の目や口腔・気道に達してしまう、相手から非常に感染しやすいスポーツと言えます。

②　試合・練習ともにグローブ、ヘッドガード、ロープなどの用具は共同で使用するため、感染の危険性が高く、選手だけでなく、用具に接触する、指導者・大会役員・大会関係者にも感染危険が発生します。

**３　ボクシング競技を再開する条件について**

1. ほとんどの人が感染力を有さないほど収束している環境
2. 皆がワクチンを接種し、免疫を有している状況
3. 治療薬ができ、容易に治癒が期待できる状況

新型コロナウイルス感染は現在までその収束には至っておらず、現段階での活動は危険性が高く困難であると判断されます。

　今後再開される時期に関しては、最も早くて数か月から1年を要すると思われます。

　東京都ボクシング連盟の業務も、一部の事務を除き、停止している状態です。

東京都ボクシング連盟の事業活動再開は、医師の判断による都連関係者との協議によって決定されますので、それまでの間は感染防止に努めてお過ごしください。